

コード：3-3399

図工
教材

ばんけい

未来のわたし

ひと しんざい
—人の芯材—



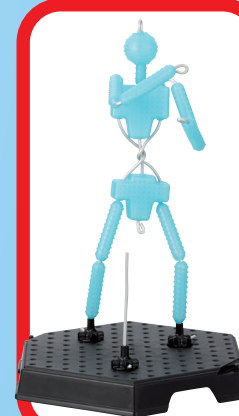
作品台付き！



芯材は組み立て済み！

曲げたりねじったり、
自由に表現できる
アルミ針金！

ワンタッチで取り付け可能！
留め具付きの作品台！



ばんけい
きみの手に、みらいの夢を。

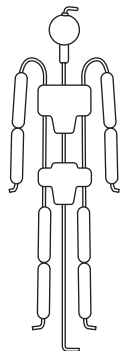
紙粘土BクレイL(別売)を使った作品

※写真の作品は、着色してあります。

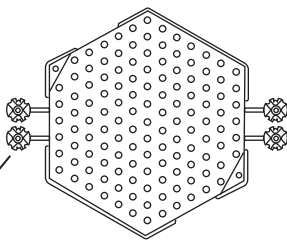
紙粘土つくつくのびーる(別売)を使った作品

内容品と使い方

しん材



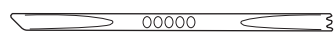
とめ具つき作品台



とめ具

- ・しん材を作品台へ固定するときに使います。
- ・ペンチなどで作品台から切りはなして使います。

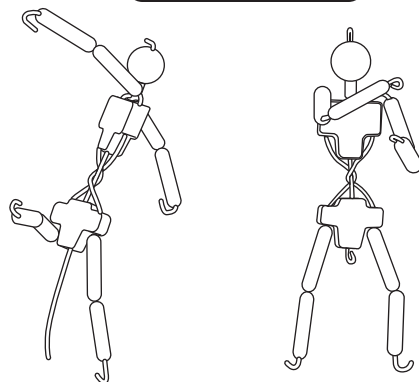
へら



紙ねん土にあなを開けたり、切ったり、線をひいたりします。

紙ねん土に模様をつけたりします。

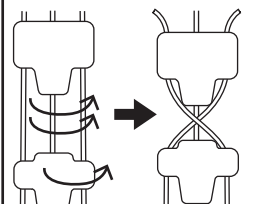
とめ具は4個ついてるので、4ヶ所まで台に固定できます。



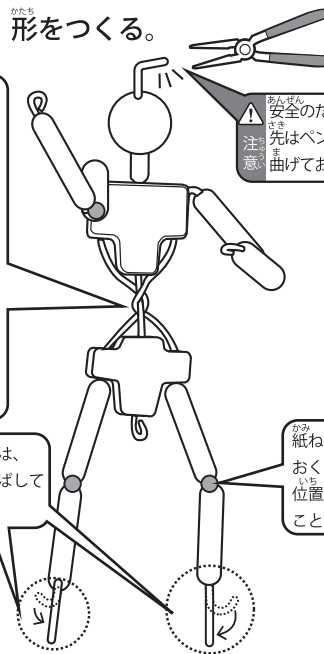
作り方

①しん材を曲げて、形をつくる。

こしをねじって、形を安定させます。



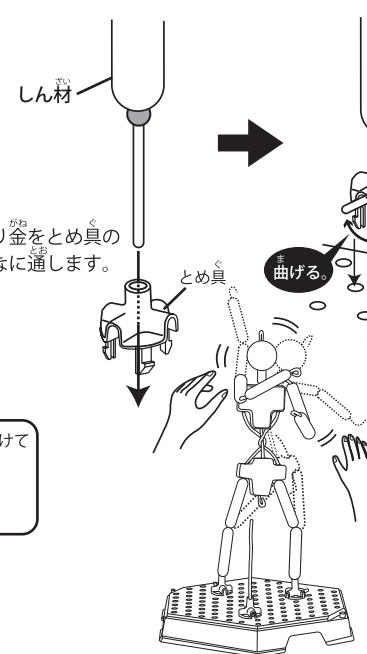
作品台に固定する部分は、ペンチでまっすぐにのばしておきましょう。



安全のため、はり金の先はペンチで必ず曲げておきましょう。

紙ねん土をすこしつけておくと、頭や手足の位置のずれを防ぐことができます。

②しん材を作品台に固定する。



はり金をとめ具のあなに通します。

とめ具を曲げる。

はり金の先をペンチで曲げてから、とめ具のつめを作品台のあなにさしこみます。

※とめ具を作品台からはずす場合は、ペンチなどでゆっくり引きぬきましょう。

しん材を固定したら、全体の形を整えます。

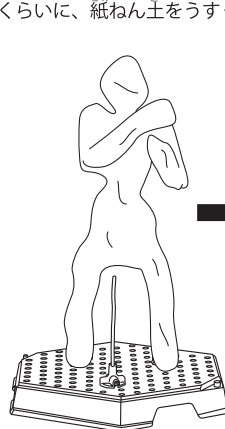
③紙ねん土をつける。

はじめに、しん材がかくれるくらいに、紙ねん土をうすくつけます。

さらに紙ねん土を肉づけて、形を仕上げます。

紙ねん土がよくかわいてから、絵の具などで着色します。

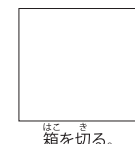
この箱の内側を使って背景をつくるができます。



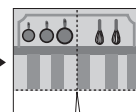
あまったねん土で、作品台にかざりつけをすることもできます。



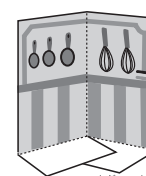
※仕上げにニスをもると、きれいな作品に仕上がります。



箱を切る。



絵をかくて折り目をつける。



下部を重ねて作品台を置く。

